平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号）	提案機関名	湘南地域農業改良普及センター
６１ ※記入不要		

要望問題

土壌還元消毒法の効果確認について

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

熱水土壌消毒、太陽熱土壌消毒に加えて、有機物を利用した土壌還元消毒に取り組む生産者が増えてきている。

現在、土壌の還元化の確認法は酸化還元電位や臭気によるものなどあるが、生産者段階で簡易に判定する方法は出されていないことから、土壌が還元化されているかどうかは分からない状態で処理が行われている。

現地の試験では、土壌の還元化によるものか太陽熱によるものかは定かではないが、400kg/10a の米ヌカの投入でネコブセンチュウの抑制が確認されてる。

そこで、投入した有機物の分解過程や還元化の状態を把握し、処理効果と合わせた有機物の適正な投入量を決める必要がある。還元化の測定法法と併せて検討をお願いしたい。

ＪＡ湘南施設野菜部会　１１３名　2,２５８ａ

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部　　署：	農業環境部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

病害虫の診断・同定及び防除対策の確立　（3）難防除病害虫に対する防除法の確立

地域環境保全対策のための土壌管理技術の開発　（1）環境保全型有機質資源施用基準の設定調査

対応の内容等

昨年まで 2 年間は「化学合成農薬を用いない土壌消毒法（熱源を利用した還元消毒効果向上技術の開発）」の課題の中で土壌還元消毒法に関する試験を実施してきました。本年は上記課題で試験を実施しており、来年度以降も継続する予定です。

試験実施内容は以下について行っております。

1 土壌還元消毒法の実証試験
2 熱源を用いた土壌還元消毒法の確立（熱水、ヒートパイプとの併用処理）
3 土壌還元消毒法を利用した後の土壌改良や施肥方法の確立

上記課題の中で、土壌還元消毒の条件設定を行うため還元化の測定方法や効果確認方法について検討します。

また、千葉県をはじめ多くの試験場が本消毒の試験に取り組んでいるので情報についてもお伝えします。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	